



表現の楽しさを学ぶ アートの出張授業

多摩美術大学校友会が主催する「出前アート大学」が、校友会大阪支部協力のもと、豊中市立東豊台小学校で2月15日に行われた。同授業は、アート・デザインを通して子どもたちに表現の楽しさや可能性を伝える出張型授業。2004年から50回以上にわたって全国の小学校で実施され、今回大阪での初開催の様子を取材した。



4年生の3クラス全員、102人の児童が参加。テーマは「〇△□(まるさんかくしかく)を使ってクラスの旗を作ろう」。幾何学図形を切り抜いた型紙を作り、組み合わせた図柄をテキスタイル(布地)に転写する手法で、旗のデザインと制作を行った。

講師はテキスタイルデザイナーのシミズダニヤスノブさんが務め、最初に制作実習の内容と、デザインが生活にどのように関わっているかを講義。自身が布生地での加工や染色を行う映像も用意し、仕事のイメージも伝えた。初めてデザイナーの仕事を見る児童からは、「すごく綺麗」「天才!」などの歓声が次々とあがった。

体育館での制作実習では、デザイン案をもとに長辺約2mの旗に布用絵の具とステンシル(型紙)でペイント。児童たちはグループ内で作業を分担し、普段より大きなキャンバスでの作画に生き生きと取り組んだ。同校の松波夏恵教諭は、「みんなで協力して大きなものを作る作業は、通常授業では調整が難しい。専門家の指導も子どもたちにとって貴重な経験です」と話す。できあがった旗には、発想力に講師が思わず唖るデザインも。観賞・講評では、児童から他のグループへの質問が活発に飛び交った。シミズダニヤスノブさんは、「バリエーションに富んでいて、同じようなデザインが一つもないことに驚いた。他の教科のようにはっきりと点数がつくものではないので、楽しく挑戦を続けてほしい」と評した。

多摩美術大学校友会は、芸術文化の発展に貢献することなどを目的に設立された、同大学の卒業生による組織。アーティストやデザイナーなど、約4万人の会員がいる。小学校への出張授業は、プログラムの作成から実施まで、会員のボランティアにより無償で行う。理事の岡田真智子さんは「英語やプログラミングの授業が増え、図工の時間が減っています。この授業でアートやデザインが身近で“自由に創造する楽しさ”を感じてもらえたら」と趣旨を語った。



9グループに分かれ旗のデザイン案をディスカッションする時間では、意見がなかなかまとまらないことも。「みんなを元気づける旗にしたい」というグループに、講師は「元気になる色やデザインって何だろう?付箋に書き出してチームで考えてみよう」とアドバイス。

こども食堂を広げよう

～2/10(日)東京・豊島区にて「こども食堂サミット2019」開催～

全国のこども食堂関係者などが集まり、今年で5回目となる「こども食堂サミット」が開催された。

14時より第1部がスタート。今年は「こども食堂を支える方法」というテーマに沿い、様々な立場からプレゼンテーションが行われた。地域でのネットワークの方法についてのプレゼンテーションで驚いたのは、エリアによって取り組みや考え方に大きな違いがあるということ。行政として積極的にこども食堂に関して取り組んでいるところとそうでないところの差が大きく、地域の人にまだ理解されていないところも多いそう。

第2部では、第1部のプレゼンテーション登壇者との質疑応答・ディスカッション。興味があるテーマへということで「各地のこども食堂のネットワークの方法」に参加。参加者からは「行政のこども食堂への関心を高めてほしい」「こども食堂の開催に公共施設を利用したいが難しい」などの声が聞かれた。回答者からは「行政にこども食堂の必要性を訴え続けることが大切」「地域によっては高齢者優先になっているところも。子どもにも目を向けてもらうよう話し合いが必要」とあったように、こども食堂の必要性を今後も多方面へ訴え続けることが大切だと改めて感じたサミットとなった。

も食堂のネットワークの方法」に参加。参加者からは「行政のこども食堂への関心を高めてほしい」「こども食堂の開催に公共施設を利用したいが難しい」などの声が聞かれた。回答者からは「行政にこども食堂の必要性を訴え続けることが大切」「地域によっては高齢者優先になっているところも。子どもにも目を向けてもらうよう話し合いが必要」とあったように、こども食堂の必要性を今後も多方面へ訴え続けることが大切だと改めて感じたサミットとなった。



写真提供: こども食堂ネットワーク

EVENT

音楽の絵本

(0才から参加可能)

親子のための不思議なクラシックコンサート「音楽の絵本」。指揮者のオカビをはじめ、演奏するのは全て希少動物という金管五重奏の「ズーラシアンプラス」。そして弦楽四重奏の「弦(つる)うさぎ」。本格的なクラシックから映画音楽に童謡まで、動物たちが奏でる多彩な音楽の世界へ子どもたちだけでなく、お父さんお母さんまでもが誘われる。

〈予定曲目〉 上演時間90分(休憩15分含む)

- ・ウィリアムテル序曲
- ・ディヴェルティメント 二長調 K136より 第1楽章
- ・ルパン三世のテーマ レイルロードファンタジー
- ・トワイエヴニング(映画「ズートピア」主題歌) ほか

> 5月26日(日) 開演:14時(開場:13時半)

- 豊中市立文化芸術センター 大ホール
- 参加費:(3歳未満は無料)[全席指定/当日500円増] ※会員無料
- 一般S席大人(高校生以上)3,500円・子ども(3歳~高校生)3,000円
- A席大人(高校生以上)2,500円・子ども(3歳~高校生)2,000円
- 問:NPO法人子どもセンターあさひ TEL06-6951-0055 FAX 06-6951-0056/MAIL asahi@kodomo-center.org

<申込み方法>

下記①~③のいずれかより申し込みください。

- ①申し込みサイト「こち〜ず」→
- ②メールまたはFAXにて直接子どもセンターあさひへ
(※参加される方の全員の氏名・お子様の年齢・住所・TEL・FAXまたはメールアドレスを記入)
- ③スーパーキッズチケットセンター
(<https://www.superkids.co.jp/ticket/>)

恒例の親子工作教室 ★

特別行事「**筍ご飯**」

> 4/13(土)
13時~15時
※少雨決行(屋台は午前中から)

紙、竹、木、木の実などの手近な材料を使った昔なじみのおもちゃ作りやこま回し、ビー玉などの遊び。今回は恒例:神社の筍を使った「筍ご飯」。

- 新田天神社境内 ふれあい広場(豊中市上新田1-17-1) ■無料・申込不要 ■定員:先着50名(高校生以下、その保護者)
- 問:千里の杜広友会TEL06-6834-5123

豊中歴史同好会例会

> 4/13(土) 14時~16時

山陰における横穴式石室の受容と展開
—東西出雲を中心に—
講師:鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター企画員 仁木 聡先生

- 豊池公民館第二集会所(豊中市豊池中町3-2-1)
- 料金:ピジター聴講料1,300円
- 初心者の方も気軽に参加可
- 問:TEL090-5400-4638(小川)

おもてなしニッポンが誇る 暮らしに緑茶

美味しい日本茶の淹れ方、煎り方、いただき方 体験会

> 4/13(土)
13時半~15時半

日本茶の淹れ方・いただき方を知れば、一服のお茶が人と人、心と心を結ぶ。茶葉を焙烙で煎る、自家製はうじ茶づくりの実演も行う。講師:岩崎三知子 おもてなし日本茶アドバイザー・みちこアソシエイツ代表・日ノ出窯ギャラリー店主

- 箕面市中央生涯学習センター3階「講座室」(箕面市箕面5-11-23) ■参加費:1,300円(茶葉などの材料費を含む 菓子付) ■定員:15名(先着順) ■問:申込:みのおてならい事務局 TEL/FAX 050-3488-1543 E-mail minohjuku@gmail.com

スーパーフードの効用と健康長寿

> 4/13(土)
10時半~12時

これまでの講義の様子

スーパーフードの歴史と思想、日本の食生活に即した効能・効用を解説し、美味しく食べるための実践的な調理法などを紹介。山口明人(大阪大学産業科学研究所 特任教授)

- 大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島4-3-53) ■受講料:1,620円 ■申込:朝日カルチャーセンター-TEL06-6222-5224または、「Handai-Asashi中之島塾」で検索 ■問:大阪大学21世紀構想TEL06-6850-6443/info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

コンサート 〇 ギャラリー ★ 催し
ミュージアム 〇 講座・講演

P プレゼントのご応募は Webから可能です。

下記URL、応募フォームよりご応募ください
※締め切りは各イベントによって異なります
※応募は毎月26日以降から可能です
<http://present.citylife-new.com>

あなたの街の情報を お待ちしております!

メール play@citylife-new.com

- 応募・掲載希望月の前月8日まで(以降も受付の場合あり)
- 掲載の場合のみ、編集部からメール連絡いたします。
- 返信がない場合、掲載を見送らせて頂く場合があります。

子ども/おもちゃの博览会 ★

> ~5/28(火)
10時~17時
※入館は16時半まで
休館日:毎週水曜日
※5/1(水・祝)は開館

明治時代以降における日本の社会の大きな変化は、その時々の子どものありようや人びとの子ども観に影響を与えた。本展では、江戸時代から戦後のさまざまな玩具をつくり、子どもや子どもをめぐる社会の変遷とその意味を探る。

P 招待券プレゼント ペア1組
(応募締切4月6日必着)

- 国立民族学博物館 特別展示館(吹田市千里万博公園10-1) ■観覧料420円
- 問:国立民族学博物館TEL06-6876-2151

吹田市交響楽団 第86回定期演奏会

> 4/29(月・祝)
14時開演
※開場13時半
吹田市を拠点に活動する市民オーケストラ。団員は約70名がお送りする定期演奏会。

[曲目] ベートーヴェン/エグモント序曲
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲(ヴァイオリン独奏:馬淵清香)
ブラームス/交響曲第2番

[指揮] 米山 信・新谷 武

- 豊中市立文化芸術センター大ホール(豊中市曾根東町3-7-2) ■入場料:前売・吹響友の会500円/当日600円 ■問:吹田市交響楽団 TEL06-6876-0625(安部、22時まで)・suitaso@gmail.com ■吹響ホームページ: <http://www.suitaso.org/>

小松崎健&伊藤賢一 Joint Live Tour

> 4/21(日)
13:30開場
※開演14:00

打楽器器ハンマーダルシマーの日本のパイオニア、小松崎健。叙情的な風景を抜群の美音で奏でるギタリスト、伊藤賢一。ソロ演奏とセッションをお楽しみに。

- アトリエリジョナル(箕面市半町2-18-1)
- 料金:2,500円(紅茶&ドイツ焼き菓子付)
- 問:TEL080-3786-7038 E-mail luciole2181@gmail.com

市民公開講座

ここまで進んだ子どものこころの科学 ~最新研究から見えてくる発達障害~

> 4/20(土)
10時~12時半

大学教授による講演と10年の研究科のあゆみに触れる展示・体験コーナーを併設。

- 大阪大学中之島センター10F 佐治敬三ホール(大阪市北区中之島4-3-53) ■無料
- 定員:150名 ※事前申込制・託児所あり
- 申込方法:TEL・FAX・WEB ■問:申込: TEL06-6879-3863/FAX06-6879-3863 E-mail office@kokoro.med.osaka-u.ac.jp

特別展「明恵の夢と高山寺」

> 3/21(木・祝)~5/6(月・振替休日)
休館日:月曜日 ※4/29、5/6は開館
10時~17時 ※入館は16時半まで

明恵上人(1173~1232)は京都・栴尾の高山寺を築いた鎌倉時代の高僧。自分の見た夢を長年にわたって記したことで知られ、その「夢記」を手がかりに、関連する絵画、彫刻作品を展示。高山寺が所蔵する国宝「鳥獣戯画」(全4巻)も公開。 ※会期中、展示替有

P 招待券プレゼント ペア1組
(応募締切4月6日必着)

- 中之島雪雲美術館(大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワーウエスト4F)
- 料金:一般1,300円・高生 800円・小学生 400円(前売りはそれぞれ200円引き) ■問: TEL:06-6210-3766